

## 11. 卒後教育:教育研修部（卒後教育研修センター）

### 卒後教育研修センター構成メンバー

飯田（センター長/プログラム責任者：血液内科）、永井（顧問/副院長：血液内科）、小林（副センター長/教育研修部長：脳神経内科）、服部（副センター長/副プログラム責任者：外科）、前澤（指導医：脳神経外科）末永（指導医：外科）、田中（指導医：小児科）、鳥居（上級医：呼吸器内科）、大脇（上級医：腫瘍内科）、新屋（教育専任看護師長）、東郷（レジデント代表5年目）、阿部（レジデント代表4年目）、丹羽（レジデント代表3年目）、麻沼（研修医2年目）、大澤（研修医1年目）、那波（管理課長）、石黒（職員係長）、山本（事務）、吉田（事務）、本城（事務）

### 研修医・専攻医確保に関する取り組み（表1、表2参照）

各地の研修病院合同説明会（民間医局レジナビフェア他）に出展した。延べ345名の学生が当院のブースに来場し学生と直接対話し広報活動を行うことができた。当院主催の医学生向けの病院説明会を6月に開催し35名の学生が参加した。また、新専門医制度により他院研修医の見学も多く、学生も3年目以降を視野に入れて研修病院を探す傾向にあることから、病院説明会において基幹プログラムとなっている科の説明も同時におこなっている。

令和6年度の見学者総数は196名と昨年度よりやや減少した。また、病院広報活動として卒後教育研修センターのX（旧twitter）やInstagramにおいて勉強会や研修の様子を随時発信し、学生への情報発信に努めた。

8月に行われた令和7年度初期臨床研修医採用試験は、試験日を3日間とし、定員13名の募集に対して71名の応募があり、フルマッチとなった。

表1 卒後教育研修センターの活動

令和7年度初期研修医採用試験	7/27, 8/3, 10	小論文、面接、
令和7年度後期研修医採用試験	8/27, 9/11, 12/24, 1/16, 1/28	面接
病院見学受け入れ	R4. 4/1 R5. 3/31	※見学学生の詳細は表2参照
病院説明会	6/29,	研修医や指導医による病院や研修の紹介、救急集中治療科医師によるER紹介など
研修病院合同説明会	5/19	民間医局レジナビフェア 2024 福岡 マリンメッセ福岡 (来訪者数 83名)
	7/6	民間医局レジナビフェア 2024 大阪 インテックス大阪 (来訪者数 77名)
	9/15	民間医局レジナビフェア 2024 岡山 コンバックス岡山 (来訪者数 22名)
	1/26	民間医局レジナビフェア 2024 金沢 石川県産業展示館 (来訪者数 39名)
	2/23	民間医局レジナビフェア 2024 名古屋 ポートメッセ名古屋 (来訪者数 124名)

研修医オリエンテーション	4/1～ 4/7	病院の概要や就業規則の説明、研修プログラムの説明、縫合練習、ICLS研修、診療各科説明会、電子カルテ実習、多職種体験、ローテーション決め、他
卒後教育研修センター会議	毎月1回 実施	4/24, 5/22, 6/26, 7/24, 9/25, 10/30, 11/27, 12/25, 1/29, 2/26,
研修医個人面談 (フィードバック面談)	第1回	5/16～6/9
	第2回	11/13～12/21
研修管理委員会	3/10	修了判定、研修プログラムの承認
CPC (臨床病理検討会)	6/13	全身のリンパ節腫大脾腫、胸腹水を認め急速に全身状態の悪化をきたした一例
	8/26	急速に増大した多発性肝腫瘍により死亡した一例
	11/18	発熱を伴わない敗血症性ショックと考えられた一例
	1/28	血痰と肺炎にて経過観察中に呼吸状態の悪化を認め死亡の転帰となった一例
研修修了発表会	3/6	ベストプレゼンテーション賞：吉田 智貴
修了証書授与式	3/19	ベスト研修医賞：浅井 裕子

表2 見学学生の詳細

診療科	人数	診療科	人数
血液内科	18	外科	23
感染症内科	1	ER	32
腎臓内科	0	心臓血管外科	1
膠原病内科	3	整形外科	5
糖尿病・内分泌内科	3	脳神経外科	2
脳神経内科	11	皮膚科	0
呼吸器内科	17	泌尿器科	2
消化器内科	25	眼科	2
循環器内科	21	耳鼻咽喉科	0
腫瘍内科	6	呼吸器外科	1
小児科	11	麻酔科	5
産婦人科	5	病理診断科	2
精神科	0	救急集中治療科	0
放射線科	0		
合計 196名			

	6年	5年	4年	3年	既卒 (研修医含)	見学総 数
4月	13	2	0	0	0	15
5月	26	7	0	0	3	36
6月	16	3	0	0	3	22
7月	19	11	0	0	3	33
8月	0	23	0	0	0	23
9月	0	3	0	0	2	5
10月	0	2	0	0	1	3
11月	0	1	0	0	1	2
12月	1	14	1	0	2	18
1月	0	8	1	0	1	10
2月	0	2	2	0	1	5
3月	1	16	5	0	2	24
合計	76	93	9	0	19	196

( )内はオンラインでの診療科説明の人数

年度別見学者数

R3 年度	R4 年度	R5 年度
166(3)名	206(1)名	203名

## 令和5年度初期研修医の進路

令和5年度採用初期研修医14名の進路は、当院の内科1名(以上、当院基幹プログラム)、脳神経外科1名、泌尿器科2名、耳鼻咽喉科1名(以上、連携プログラム)、他施設へは放射線科3名、皮膚科1名、眼科1名、麻酔科1名、整形外科2名、耳鼻咽喉科1名であった。

## 勉強会・講習会 (表3 参照)

院内外の講師を招き、研修医対象の勉強会やカンファレンスなどを開催した。

表3 研修医対象の勉強会、カンファレンス

開催日	講師敬称略		勉強会タイトル
4/23	救急集中治療科	近藤 貴士郎	血液ガス装置説明会
4/25		研修医2年次	ERの振り返り
5/1	救急集中治療科	尾畑 友章	救急外来での初期対応
5/2	救急集中治療科	近藤 貴士郎	ERカンファ
5/20		研修医2年次	ERの振り返り
5/23	救急集中治療科	近藤 貴士郎	ERカンファ
5/31	藤田医科大学 救急総合内科 教授	岩田 充永	救急カンファレンス
6/7	救急集中治療科	東郷 建世	PTLS①
6/11	救急集中治療科	田中 ひまり	熱中症
6/19	整形外科	杉山珠里 阿 部晃大	骨折のシーネ固定ハンズオンセミナー
6/20	救急集中治療科	近藤 貴士郎	ERカンファ
6/21	救急集中治療科	東郷 建世	PTLS②
6/28	藤田医科大学 救急総合内科 教授	岩田 充永	救急カンファレンス
7/11	内分泌内科・脳神経内科・ 腫瘍内科	各科担当の先生方	ERで必ず上級医に相談すべき症例・これを見逃してはいけない!
7/17	皮膚科・膠原病内科・ 小児科	各科担当の先生方	ERで必ず上級医に相談すべき症例・これを見逃してはいけない!
7/29	脳神経外科・耳鼻咽喉科・ 循環器内科・血液内科	各科担当の先生方	ERで必ず上級医に相談すべき症例・これを見逃してはいけない!
7/31	呼吸器内科・消化器内科	各科担当の先生方	ERで必ず上級医に相談すべき症例・これを見逃してはいけない!
8/19	外科	羽田 拓史	ERで必ず上級医に相談すべき症例・これを見逃してはいけない!
9/10		研修医2年次	ERの振り返り

9/12	救急集中治療科	森田 恭成	ショック
9/18	外科	安田 あゆ子	インシデントレポートについて
9/25	脳神経内科	榊原 健二	脳梗塞
10/9	検査科	山本 涼子	臨床で学んだこと（感染症）
10/21	救急集中治療科	森田 恭成	輸血
10/25	藤田医科大学 救急総合内科 教授	岩田 充永	救急カンファレンス
10/31	救急集中治療科	森田 恭成	災害時どうする？
11/14		研修医2年次	ERの振り返り
11/22	消化器内科	近藤 尚	腹部エコー第1回【講義編】
11/25	救急集中治療科	森田 恭成	呼吸不全
12/5	脳神経内科	梶田 脩	痙攣
12/13	消化器内科	近藤 尚	腹部エコー第2回【実践編】
12/20	藤田医科大学 救急総合内科 教授	岩田 充永	救急カンファレンス
12/27	救急集中治療科	尾畑 友章	PALS ～小児二次救命処置～
2/19	救急集中治療科	金原 佑樹	災害医療 （広域災害）大切なモノの明日を守るために
2/27	腫瘍内科	佐藤 真利子	コンサルテーションで気をつけるポイント
3/21	救急集中治療科	東郷 建世	ER診療ことはじめ
3/26	救急集中治療科	金原 佑樹	局地災害
3/27	救急集中治療科	森田 恭成	大量輸血

その他、ER症例振り返り（平日午後）

#### 他施設からの初期研修受け入れ

国立病院機構豊橋医療センターより延べ3名  
 国立病院機構長良医療センターより延べ11名  
 国立長寿医療研究センターより1名  
 国家公務員共済組合連合会名城病院より2名  
 総合上飯田第一病院より1名